

寒川文書館だより

Vol. 19



倉見駅（昭和38年、「町勢ダイジェスト 1963」より）

■ 第19号目次 ■

資料紹介「倉見駅」	2
文書館活用講座	3
町史編集委員を委嘱	3
企画展「寒川町 75年の軌跡」	4
文化人展「生誕100年 井上有一」	6
美術展「絵はがきになった湘南の風景」	6

第19号
2016.3.31
寒川文書館

この写真は昭和38年(1963)に発行された「町勢ダイジェスト 1963」に掲載された一枚である。全32ページからなるこの資料は、沿革、行政、財政、教育、産業など寒川町のプロフィールについて、写真や図表を多用して紹介したものである。倉見駅の写真は、「交通・通信」というページに掲載されている。写真を多く用いる町勢要覧は1960年版に次いで2度目の発行である。その後制作された1970年版などとともに、その当時の町の概要を知るための貴重な資料となっている。

相模線の倉見駅は、大正15年(1926)4月1日に開業した。今年の4月でちょうど90年の節目を迎えるが、開業当初の駅舎が今もなお現役で使われており、相模線の18の駅のなかで最も古い駅舎である。

大正10年9月に茅ヶ崎－寒川間で営業を始めた相模鉄道は、大正15年4月に倉見まで、同年7月に厚木までと段階的に延伸し、昭和6年に橋本まで開業して全線が開通した。

駅舎の着工は関東大震災の直後ということもあって、駅舎、ホーム、倉庫などほとんどの建造物が鉄筋コンクリートで造られた。耐震性に優れ、火災にも備えられるほか、維持費の軽減にもつながるといふことで、木造の駅舎が多いなか、当時としては画期的なものだったようだ。社家駅もほぼ同じ仕様で造られ、こちらも現役で使われているが、開業日の関係で、倉見のほうが3か月だけ古いということになる。

そもそも相模鉄道は、相模川の砂利を輸送することを目的の第一に掲げて敷設された。当初は寒

川駅から伸びる2つの貨物支線の近くの河原で砂利を採掘していたが、昭和4年(1929)から倉見駅周辺でも砂利を採り始め、以来、倉見駅は砂利の積み出し拠点として重要な役割を果たすことになる。河原で採掘された砂利はトロッコで駅付近に運ばれた。トロッコは一段高くなったところに停車し、その下に待機している無蓋貨車に移し替え、機関車に牽引されて、東京や横浜方面へ出荷されたのである。

画面手前には2つのバス停が見える。中央は相模鉄道のもの。昭和37年から昭和60年まで運行されていた路線で、海老名駅を起点に倉見駅経由で寒川駅まで行っていた。左側に見えるのは神奈川中央交通のバス停である。茅ヶ崎駅から寒川神社、倉見駅を経由して本厚木駅に至る路線で、平成4年ごろまで運行されていた。主要地方道相模原茅ヶ崎線(県道46号線)は、昭和44年に現在のルートが完成したが、それまでは倉見駅前の通りが県道であった。当時はバスも旧県道を通っていたので、駅前にバス停が設けられたが、新県道の完成とともにバスルートも移り、駅前のバス停は廃止された。

寒川文書館第21回企画展「相模線 駅ものがたり」が、3月13日から6月30日までの会期で開催中である。寒川町内に現在ある駅(寒川・宮山・倉見)、かつてあった駅(西寒川・四之宮・川寒川)のプロフィールやエピソードをたくさんの資料や写真で紹介している。ぜひ足を運んでいただければ幸いである。

(高木秀彰)

文書館活用講座

初めての試みとして、平成27年11月から「文書館活用講座」を開催しました。文書館で保存している多彩な資料をどのように使えば良いのか。そのコツを伝授する4回連続の講座です。各回20名ほどの参加者があり、皆さん熱心にメモをとるなどしていました。

第1回 「寒川の基礎知識—地名と町の生い立ち」

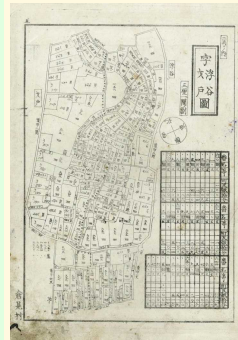
(11月28日)



寒川文書館の役割について説明したのち、寒川という地名や寒川神社、大字ごとの一番古い史料を紹介。さらに、寒川村・寒川町の成立に関わる文書、行政刊行物の種類など、盛りだくさんの内容となりました。

◀町制施行を伝える県公報

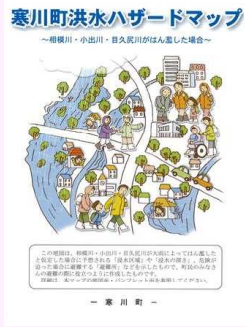
第2回 「さまざまな地図を使う」(12月19日)



江戸時代の絵図、地形図、都市計画図、住宅地図、空中写真など、さまざまな地図の種類を説明したあと、土地利用の履歴の調べ方、防災情報の入手の仕方等について解説しました。

◀明治13年の「倉見村一村字切図」

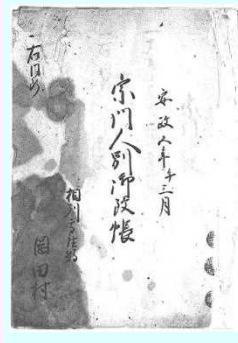
第3回 「災害の記録を調べる」(1月23日)



関東大震災の記録の調べ方、地質、標高、過去の土地利用など身近な情報の入手方法などを示すとともに、資料を残し伝えることの重要性などを説きました。

◀寒川町洪水ハザードマップ

第4回 「先祖を調べる」(2月27日)



戸籍の調べ方、江戸時代の古文書や墓石等の調査法、系図資料の使い方など、先祖を調べるノウハウを伝えるとともに、調査成果を系図にまとめる方法なども話しました。

◀岡田村宗門人別帳

町史編集委員を委嘱

町史編集委員会は、歴史学等の専門家で構成され、町史研究や調査報告書などの編集方針を定め、執筆や編集作業などを行っています。このほど3年の任期が終了したため、同じ方々に再委嘱しました。



委嘱式での町長あいさつ

担当分野	氏名	備考
宗教	圭室文雄	明治大学名誉教授
考古	木村勇	日本大学考古学会監事
古代・中世	鳥養直樹	元文教大学講師
近世	大口勇次郎	お茶の水女子大学名誉教授
近・現代	内海孝	東京外国語大学名誉教授

任期：平成27年12月20日～平成30年12月19日

＜第20回企画展＞

寒川町 75年の軌跡

昭和15年(1940)11月1日、寒川村が町政を施行し、寒川町が誕生しました。それから75年。寒川町はどのように発展を遂げてきたのでしょうか。

この展示では毎年のおもなできごとを年表風に紹介しながら、町の軌跡をたどりました。来場者のみなさんには、ご自身の思い出と重ね合わせながら展示をご覧くださいました。

会期：平成27年10月31日～平成28年2月28日

昭和15年(1940)	
9月30日	町議会で町制施行が決議される
10月1日	国勢調査が実施される。6,772人、1,146世帯。
11月1日	町制が施行され、寒川町が発足。初代町長に広田孝基が就任。
11月10日	寒川神社で紀元二千六百年祭が行われる。

年表パネルの例

町政50周年記念
グッズの展示



説明会のようす



出張展示 平成27年11月1日

第51回町表彰式の開催に合わせて、町民センターロビーにおいて企画展の出張展示を行いました。75年間の年表パネルの複製版を展示しました。

展示のようす



懐かし映像上映会 「寒川のまちづくり」 平成27年11月3日

総合図書館との共催で上映会を開催しました。9回目となる平成27年度は、企画展の関連事業として、「寒川のまちづくり」をテーマに1980年代、90年代の寒川町を紹介する映像や空撮の映像記録を上映し、当時の町の風景を振り返りました。



寒川神社上空
(「湘南新都市寒川NOW」より)

上映会のようす



寒川町のおもなできごと

※年表パネルをもとに作成しました。

年 月 日	できごと	年 月 日	できごと
昭和15年11月1日	町制が施行され、寒川町が発足。初代町長に広田孝基が就任。	昭和53年4月1日	県立寒川高等学校が開校する。
昭和16年6月	岡田に日本内燃機(株)寒川製造所が創設される。	昭和54年11月1日	町民センターがオープンする。
昭和17年(この年)	倉見の永池川河畔の桜が木炭用に伐採される。	昭和55年4月1日	小谷小学校が開校する。
昭和18年5月20日	相模海軍工廠の開庁式が行われる。	昭和56年4月1日	健康管理センターがオープンする。
昭和19年8月22日	横須賀市立豊島小学校の児童が集団疎開に来る。	昭和57年4月1日	北部文化福祉会館が開館する。
昭和20年6月1日	寒川町国民義勇隊が結成される。	昭和58年4月1日	南部文化福祉会館が開館する。
昭和21年7月17日	農村文化講座が開講する。	昭和59年3月31日	相模線西寒川支線が廃止される。
昭和22年5月5日	寒川中学校が開校する。	昭和60年9月7日	寒川駅の橋上駅舎の落成式が行われる。
昭和23年3月7日	寒川町公安委員会と寒川町警察が発足する。	昭和61年6月3日	都市計画道路柳島寒川線の役場一馬場間が開通する。
昭和24年6月27日	『寒川弘報』(現広報さむかわ)が創刊される。	昭和62年6月5日	タウンニュース寒川版が創刊される。
昭和25年11月1日	町制10周年記念式典および諸事業が行われる。	昭和63年7月30日	第1回サマーフェスティバルで初代ミスさむかわが選ばれる。
昭和26年6月	『郷土史話さむかは』が発行される。	平成元年4月1日	寒川東中学校が開校する。
昭和27年(この年)	公民館裁縫塾が「みどり女学院」と改称される。	平成2年11月1日	町制施行50周年を記念し、寒河江市と姉妹都市締結調印式。
昭和28年8月7日	相模川に架かる神川橋が開通する。	平成3年3月16日	相模線が電化開業する。
昭和29年12月23日	寒川駅西側に公衆浴場「すずらん湯」が開業する。	平成4年9月6日	神川橋の架け替え工事が完成し供用開始となる。
昭和30年10月23日	第10回国民体育大会の「聖炎旗」が町内をリレーする。	平成5年7月30日	川とのふれあい公園の開園式が行われる。
昭和31年6月3日	寒川郵便局が一之宮から寒川駅北口に移転。	平成6年4月2日	南小学校が開校する。
昭和32年4月15日	寒川派出所が大山踏切南側から一之宮の大山街道沿いに移転。	平成7年12月25日	美化センターが改築され稼働をはじめ。
昭和33年4月15日	寒川小学校で給食が始まる。	平成8年11月1日	文化財学習センターが一之宮小学校内にオープンする。
昭和34年3月18日	大蔵に高座塚の祖・ペンドレーパグルポイニ二世の墓が建立。	平成9年5月19日	寒川南インターチェンジ予定地でさがみ縦貫道路の起工式。
昭和35年11月15日	相模線西寒川駅の旅客営業が再開される。	平成10年10月25日	かながわゆめ国体銃剣道競技が開催される。
昭和36年8月	町営プールが宮山新橋地区に開場する。	平成11年4月24日	ケーブルテレビで寒川町広報番組の放送が始まる。
昭和37年6月23日	東海道新幹線綾瀬-小田原間で試運転が始まる。	平成12年7月16日	梶原景時没後800年記念祭が行われる。
昭和38年2月4日	公民館で公営結婚式が行われる。	平成13年3月27日	こすもすの郷の開所式が行われる。
昭和39年3月31日	寒川工業団地の造成が完成する。	平成14年5月1日	県道中海岸寒川線が一部開通。
昭和40年11月8日	宮山駐在所が中里交差点北側に新築移転する。	平成15年1月8日	コミュニティーバスの試験運行が始まる。
昭和41年9月20日	寒川神社参道に二之鳥居が再建される。	平成16年8月2日	寒川病院が新築完成。
昭和42年12月1日	救急車が配備され、救急業務を開始。	平成17年12月2日	JAさがみの大型直売店「わいわい市」開店
昭和43年4月	一之宮十字路に初めての信号機が設置される。	平成18年11月3日	寒川総合図書館と寒川文書館が開館。
昭和44年12月1日	初めての児童館として倉見児童館がオープンする。	平成19年4月1日	役場庁舎内に災害対策本部室を設ける。
昭和45年11月1日	町制施行30周年記念で、商工祭、第1回文化祭などが行われる。	平成20年11月8日	寒川町で事業仕分けを実施。
昭和46年3月31日	美化センターが完成する。	平成21年8月2日	寒川神社の神嶽山周辺整備が竣工、公開を開始。
昭和47年4月1日	旭が丘中学校が開校する。	平成22年4月1日	田端スポーツ公園がリニューアルオープン。
昭和48年4月2日	町の木(もくせい)と町の花(すいせん)が制定される。	平成23年4月20日	寒川駅北口駅前広場の供用開始。
昭和49年1月1日	湘南視聴覚ライブラリー協議会が発足する。	平成24年3月25日	広域リサイクルセンターの開所式を行う。
昭和50年4月1日	旭保育園が移転、開園する。	平成25年4月14日	圏央道茅ヶ崎JCT-寒川北IC間が開通。
昭和51年5月18日	役場現庁舎の竣工式が行われる。	平成26年10月1日	寒川駅-海老名駅間路線バス実証運行を開始。
昭和52年4月1日	さむかわ保育園が現在地へ新築移転。	平成27年3月29日	観光協会が寒川駅前に移転。

寒川ゆかいの文化人展「生誕100年 井上有一」

井上有一(1916～1985)は、現代美術において先進的表現が高く評価されている、戦後日本を代表する書家です。 教員として茅ヶ崎・寒川の小学校・中学校に勤務するかたわら、晩年は寒川町内の自宅アトリエで精力的に作品を制作しました。

今年、生誕100年を迎えたのを機に、町に寄贈された作品を中心に、地域ゆかりの資料を文書館で展示しました。各地の美術館で開催される展覧会とは異なり、教員時代の同僚や教え子など、大勢の方々が来館して下さり、地元ならではの展示会となりました。

主 催：寒川町協働文化推進課
共 催：寒川文書館・寒川総合図書館
会 期：平成28年3月2日(水)～10日(木)
会 場：文書館展示コーナー
展示作品：井上有一作品10点、ポートレート2点
旭小学校卒業アルバム、PTA 会報ほか



会場の様子

藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町美術展

絵はがきになった湘南の風景

湘南広域都市行政協議会の事業として、茅ヶ崎市美術館を会場に、藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町の地域にゆかりの美術作品や文化遺産を紹介する美術展を実施しています。6回目となる平成27年度のタイトルは、「絵はがきになった湘南の風景」。会期は平成27年12月6日から28年1月31日でした。大正・昭和期に2市1町で発行された約250枚の絵はがきが展示されました。

このうち寒川町域が写った作品は、寒川神社、皆川病院、寒川浄水場、目久尻川など7種46枚でした。

1月16日には、寒川の絵はがきについて説明するギャラリートークを実施。絵はがきに関する法的な背景、寒川神社の絵はがきと関東大震災との関係などについて、文書館職員が解説しました。



▲寒川神社（昭和3年）

▼目久尻川（昭和4年）



▲ギャラリートーク

文書館 最近のできごと

■相模線沿線ハイキング 10月10日(土)



毎年恒例の相模線複線化等促進協議会が主催する「相模線沿線ハイキング」が開催されました。今回は寒川コースで、寒川駅前公園をスタートし、ゴールは寒川総合体育館でした。参加者ゴール受付横で、相模線関連の刊行物として、相模線開業90年を特集した『寒川町史研究24号』、絵はがき「1960年代の相模線」や「相模線最後の気動車」を販売しました。特に絵はがきは懐かしいと好評で、多くの方々に購入していただきました。

■鎌倉市立図書館視察 11月4日(水)



鎌倉市立中央図書館の市民協働事業「ファンタスティックライブラリー」の催し「寒川文書館見学会」に参加の市民22名が来館しました。まずは会議室において、公文書館についての一般的な説明、当館の設立経緯や運営状況などの紹介を行い、その後、施設見学を行いました。参加者の皆さんは説明を熱心に聴いてくださり、また質問も大変多く、文書館への関心の高さが伝わってきました。

■三枝芳一氏資料調査 12月5日(土)



岡田の三枝芳一氏より、先代の惣治氏が残した資料の寄贈をお申し出いただき、同家へ調査に伺いました。庭のコンテナ内にはたくさんの資料や図書が整然と納められており、ご家族のご協力いただきながら箱詰めして文書館へ搬入しました。内容は、マッチ箱コレクションや写真、郷土史関係の図書などです。現在、図書は登録を済ませご利用いただけます。資料や写真については現在整理作業を進めています。

■寒川東中学校職場訪問 2月26日(金)



職場訪問学習の寒川東中学校1年生4名が来館しました。中学生が業務内容などについてインタビューをし、それに答える形で進めました。これに併せて文書館の役割と機能について説明し、施設見学を行いました。後日送付された礼状には「たくさん本物の資料を見ることができて楽しかった。」「実際の資料を使って東中学校の設立について説明を受け、その苦労がわかった。」「課題が出たら文書館を利用したい。」などといった感想も添えられ、文書館を身近に感じてもらえたようです。

今後の事業予定

■開催中の展示

第21回企画展 「相模線 駅ものがたり」

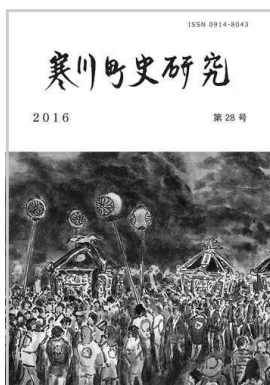
今年は倉見駅が開業して90年、相模線が開業して95年の節目にあたります。特に倉見駅は、大正15年(1926)の開業時の駅舎が今もなお現役で活躍しています。そこで、いま寒川町内にある駅や、かつて存在した駅についてその移り変わりやエピソードなどをご紹介します。

会期：平成28年3月13日(日)～6月30日(木)

■新刊のお知らせ

『寒川町史研究』第28号

「特集：寒川と茅ヶ崎の浜降祭」



茅ヶ崎市・寒川町広域連携事業の一環として開催された展示および講演会の事業結果報告を中心にまとめました。他に、防災講演会の講演録などを載せています。

頒布開始：平成28年5月1日

頒布場所：寒川文書館窓口

価格：500円

■平成28年度前半の事業予定

平成28年度前半は次の事業を実施する予定です。日時、会場、申込み方法など、詳しくは「広報さむかわ」、文書館のホームページ、チラシなどをご覧ください。

○古文書講座(全6回。5～10月の第4土曜)

○茅ヶ崎市・寒川町広域連携事業企画展「田村通り大街道(仮称)」(7月～9月)

編集後記

平成27年度は、例年以上に普及事業に力を入れた年でした。茅ヶ崎市・寒川町広域連携事業「寒川と茅ヶ崎の浜降祭」では、初めて茅ヶ崎文化資料館と協同で展示と講演会を実施しました。他に戦後70年の節目として「記録が語る銃後」、町制施行75年を記念した「寒川町の75年」、倉見駅開業90周年の「相模線 駅ものがたり」と企画展を開催。さらに、文書館活用講座の初開催、協働文化推進課との共催による井上有一展と、さまざまな展開を行うことができました。こうした事業を通じて、文書館の活動や所蔵資料を広く知っていただき、これが閲覧利用につながればと考えています。

利用案内

■開館時間

火曜～金曜日 午前9時～午後7時
土・日・祝日 午前9時～午後5時

■休館日

月曜日(国民の祝日にあたる場合は開館)
年末年始(12月29日～1月3日)
特別整理日(決まり次第お知らせします)

■交通のご案内

JR相模線 寒川駅下車 徒歩10分
寒川町コミュニティバス・

神奈中・相鉄バス 海老名駅～寒川駅線
「図書館文書館前」下車 徒歩1分

※なるべく公共交通機関か自転車、徒歩でお越しください。



寒川文書館だより 第19号

平成28年3月31日

編集・発行/寒川文書館

〒253-0106 神奈川県高座郡寒川町宮山135-1

TEL 0467-75-3691 FAX 0467-75-3758

ホームページ <http://www.lib-arc.samukawa.kanagawa.jp>

電子メール bunshokan@town.samukawa.kanagawa.jp